

聴能だより

令和8年3月3日
新潟県立長岡聾学校支援部
0258(38)0200(聴検室直通)
tyounou@nagaokarou.nein.ed.jp

—今年度を振り返って—

今年度も皆様のご協力のおかげで、聴能の役割を無事に果たすことができました。ありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

物価高の影響を受け、聴能関係の品も昨年度に引き続きさらに値上がりしてしまいました。もともと高価な物がさらに高くなって本当に大変ですが、今後も続きそうです。以前と違う、よく分からないと思うことがありましたら、いつでもお知らせください。きこえルームで取り扱っている消耗品の購入に際しては、在籍のお子さんは4月に新年度用の購入袋をお配りいたします。価格をご確認の上、購入袋にお金を入れてください。(以前お配りした購入袋は各ご家庭で廃棄をお願いします。)

今年度は、約四半世紀ぶりにきこえルームスタンダード測定室の聴力測定機器オーディオメータをリニューアルしていただき、令和7年12月に納品されました。支援部の職員を中心に使い方の研修を行い、その後各学部職員への研修という流れで全職員が聴力測定をできるように進めています。また、各教室に配当して使用しているロジャー送信機は、今年度に引き続き来年度以降もロジャータッチスクリーンマイクの後継機種に少しずつ買い換えを進め、リニューアルしていく予定です。今後も校内での音環境の充実に努めたいと考えています。



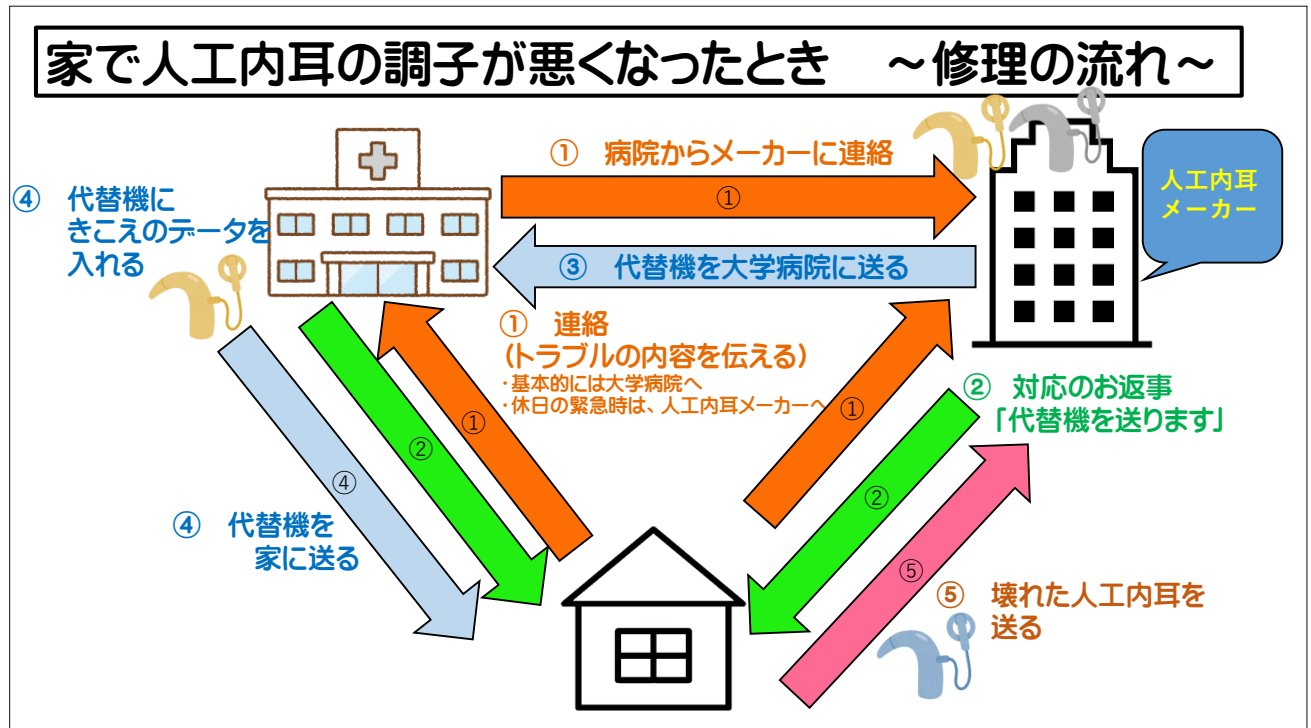
～年度末・年度始めのお知らせ～

- ☆年度末・年度始の休業中は、基本的に聴力測定の予定はありません。
急な予約変更等で、春休み中や4月初めの受診に変更になり、連絡票が必要な場合は測定をしますので、ご連絡ください。
- ☆病院からの返事は必ず原本を学校に提出してください。
連絡票の受け渡しには、聴能の赤いファイルをお使いください。
- ☆予約の変更を行ったときは、変更した受診日をお知らせください。
予約変更の連絡が聴能担当に伝わらない場合、連絡票を渡すことが遅れる、又はお渡しできない場合があります。
- ☆上越方面の方は、受診の予約をしたら、学校にもお知らせください。

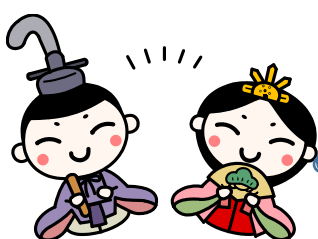
—自分のことは自分でできる大人に—

聴能だより1、2月号では、補聴器の調子が悪くなった時の対応についてを中心に掲載いたしました。今号では人工内耳のトラブル対応について確認いたします。

人工内耳は、新潟県では新潟大学医師学総合病院でのみ手術を行っています。そのため、手術前後の受診、人工内耳のマッピング（調整）は、新潟大学医師学総合病院で受けることになります。人工内耳の機器に不具合があった場合の対応については、以下のようになります。



補聴器のように購入した補聴器店ですぐに対応していただくということが難しく、不具合があった場合は基本的に手術してもらった病院へ連絡（休日で病院がお休みの場合は人工内耳メーカーに電話やメール）して対応してもらうことになります。上記の図のような修理の流れを知っておくことはもちろん、大学病院やメーカーへの連絡方法（電話番号や FAX 番号、メールアドレスなど）を知っておくこと、トラブルの状況を的確に説明する力も身につけて高等部の卒業を迎えたいものです。学校でも学習を進めていきますが、ご家庭でも家族で情報を共有したり、「こんな症状の時は文章でこんな風には書くと上手く相手に伝えることができるよ」等、具体的に一緒に準備していただくとありがたいです。ちょっと気になっていることや不明な点などは、お気軽に担任や当校職員にお声がけください。



耳を
大切にね

3月3日は
耳の日